

連載 翠嵐の風景 (1)

六本の桜六人の友  
— プール跡の春とこどもの国線 —



旧プール跡の横浜緋桜

翠嵐の正門を入るとすぐ右側に、野生稲の発芽を象った青と赤のモニユメントが私たちを出迎えてくれます。さらに右奥に進むと旧プール跡の広い空き地がありますが、毎年4月前後になると、バス通りに面したフェンス沿いにソメイヨシノが満開になります。その少し前にソメイヨシノの合間に植えられたピンクの花が咲き出すのを見な

さんご存知でしょうか。3月終わってから4月初めにかけてのほんの僅かな間、この横浜緋桜とソメイヨシノが咲き揃い、プール跡地はまるで桃源郷のようになります。この横浜緋桜は6本植えられていて、いちばん奥の平沼邸

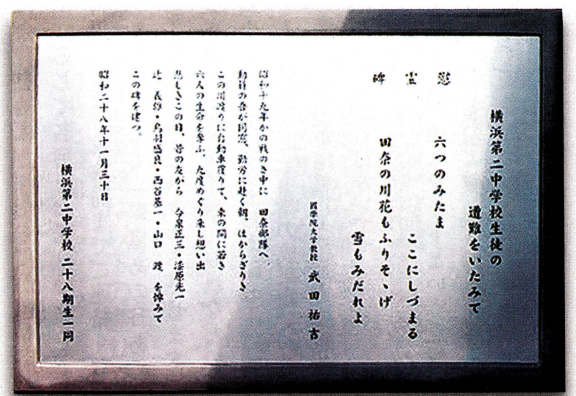


田奈慰霊碑

よりの角には小さな石柱が建てられています。長津田駅から2両編成の電車に乗り換えて、親子連れに混じって単線を終点まで2駅、小さな旅が楽しめます。親子連れは駅を出てまっすぐ「こどもの



本来の場所にあった慰霊碑



慰霊碑の解読文

国」に向かっています。駅を右に出たバス通りを道なりにもどきた長津田の方向に戻ると、向かって左手の切り通しが右手の奈良川に迫ったところ、川にせり出したバス停の向かいの斜面を切り欠いて大きな菱形の自然石の石碑が建っています。この斜面の上には住吉神社というお社があり、その先の鳥居の石段の下はバス通りの交差点になっています。この住吉神社前交差点は神前橋という橋の上にかかっています。翠嵐の小さな石柱には「学徒勤労動員殉難之櫻木」と刻まれ、神社の麓の大きな石碑には高名な国文学者の手による「鎮魂歌」が刻まれています。

翠嵐会報 第29号

平成27年10月30日発行

編集・発行 / 翠嵐会 横浜市神奈川区三ツ沢南町1の1 神奈川県立横浜翠嵐高校内

FAX: 045(630)4543

http://www.suirankai.jp

制作 / コトブキ印刷工業有限公司